

区立保育園看護師発 今月のテーマ

♥ カビがからだに与える影響（エアコン編） ♥

エアコンを使う機会が増えるこの季節は、エアコン内の結露により湿気がたまり、カビが発生・増殖しやすい環境にあります。そのまま使用するとカビを吸い込み、ぜん息やアレルギー性鼻炎、夏型過敏性肺炎などの病気に罹ってしまう可能性があります。

エアコンを清潔に保つよう、心がけましょう。

★夏型過敏性肺炎とは・・・カビを吸い込んでから数時間後に、咳や痰、悪寒、頭痛、発熱、呼吸困難などの症状が現れます。家や職場など特定の場所だけで症状のあるときは、この病気の可能性があります。



＜カビを増やさないために＞

発生条件の「温度」「湿度」「ホコリ・汚れ」の3つを断ちましょう。

- 1 温度 25～28 度、湿度 70%以上を好み、高温多湿になると急速に増殖します。除湿・定期的な換気を心掛けましょう。
 - 2 エアコンのフィルターに、ホコリやハウスダストが付着していると、カビの栄養源となり増殖してしまうことがあります。こまめに掃除をしましょう。
- ※ エアコンの他、お風呂場や洗濯機周り、押し入れなど、湿気のたまりやすいところも注意が必要です。

咳や息苦しさなどの症状が治まらない、長く続く場合は早めに主治医に相談しましょう。

大田区の感染症情報

6月1日～6月24日

地域	大森	調布	蒲田	糀谷羽田
疾患名				
感染性胃腸炎	12	12	15	13
RSウイルス感染症	11	4	27	19
ヒトメタニューモウイルス感染症	1	13	0	0
手足口病	15	1	3	18
咽頭結膜熱	4	0	5	6
A型肝炎ウイルス感染症	1	8	4	0

昨年の春先から7月は、RSウイルス感染症の流行が見られました。今年も6月に入り多くなってきています。



学校等欠席者・感染症情報システムを活用して、区内の感染症の流行状況等を地域ごとにお知らせします。

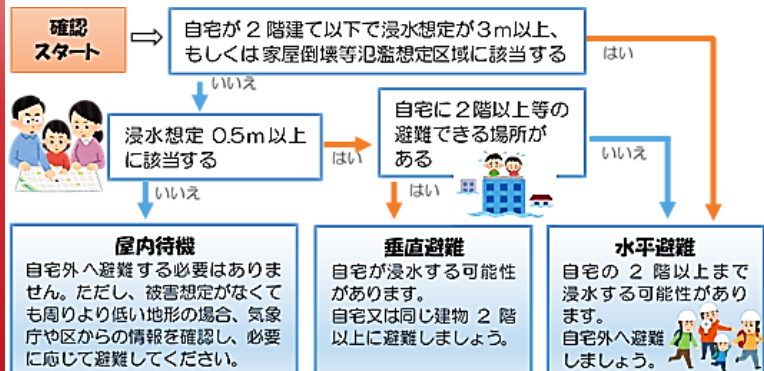


子育てアラカルト(区内共通)



＜風水害の対応＞

風水害が予測されるときは、フローチャートを参考に避難を検討しましょう。特にお子さんのいるご家庭は、明るいうちの避難を心がけましょう。



* 詳しくは大田区防災ポータル＞ハザードマップ（風水害版）をご覧ください